

第1032回教育委員会

平成28年10月20日
県庁舎教育委員室

1 開 会 午後2時

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 議席の決定

5 報 告

- (1) 教育長職務代理者の指名について (教育長)
- (2) 山形県学力等調査について (義務教育課)
- (3) 平成29年度震災による福島県等からの本県県立高等学校への受検に係る実施要項について (高校教育課)
- (4) 第71回国民体育大会の結果について (スポーツ保健課競技スポーツ推進室)

6 議 題

- 議第1号 山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について (総務課教職員室)
- 議第2号 教職員の人事について (総務課教職員室)
- 議第3号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見に係る臨時専決処理の承認について (総務課)
- 議第4号 山形県飯豊少年自然の家の指定管理者の指定について (文化財・生涯学習課)
- 議第5号 平成29年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学者募集について (高校教育課)
- 議第6号 平成30年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針の決定について (高校教育課)

7 閉 会

山形県学力等調査について

概要

1 調査の目的

第6次山形県教育振興計画の「社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する」という基本方針のもと推進する探究型学習で育てたい学力及び学習状況について、児童生徒の実態を把握・分析し、探究型学習推進による成果と課題を検証して、学校における児童生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査対象

国・公立の以下の学年を原則として、全児童生徒

ア 小学校調査 第5学年（義務教育学校・特別支援学校を含む）

イ 中学校調査 第2学年（義務教育学校・特別支援学校を含む）

3 調査内容

(1) 学力調査

ア 教科の枠にとらわれず、知識・技能を活用することができる思考力・判断力・表現力等を評価する合教科型・総合型の問題を出題する。

イ 小学校調査の問題は、国語、社会、算数、理科など複数の教科を合わせて出題し、中学校調査の問題は、国語、社会、数学、理科、英語など複数の教科を合わせて出題する。

ウ 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 学習状況調査

調査する学年の児童生徒を対象に、探究型学習との関わりから、児童生徒の生活状況や学習状況について捉えていきたいことがらについて実施する。

4 調査実施日

平成28年10月5日（水）

※ 実施日に実施できない場合には、10月6日（木）7日（金）11日（火）のいずれかの日に実施

5 調査実施状況（受験予定数）

小学校

参加校数 → 247校

実施日 → 5日：240校・6日：2校・7日：3校・11日：2校

参加予定児童数→9082人（受験者数は現在集計中）

中学校

参加校数 → 96校

実施日 → 5日：92校・6日：1校・7日：0校・11日：3校

参加予定生徒数→10169人（受験者数は現在集計中）

平成29年度

震災による福島県等からの山形県立高等学校への受検に係る実施要項

1 目的

- (1) 震災の影響により山形県（以下、「本県」という）内の小学校に転学し中学校に入学、あるいは本県中学校に転学し（以下、「震災による転入生」という）、平成29年度の本県県立高等学校を受検しようとする生徒に対応し、円滑かつ公正な受検に資する。
- (2) 原発事故等の影響により、福島県を中心に、本県県立高等学校へ受検しようとする生徒の増加が見込まれることから、他県から受検を希望する中学生及び本県中学生が安心して受検できる入学者選抜制度に資する。

2 本実施要項において対象となる生徒

本県または本県以外の中学校を卒業見込みの者で以下の項目のいずれかに該当する者とする。

- (1) 震災で罹災した者、または罹災地域に居住しており、地域環境の悪化等により通常の生活を営めず避難に及んだ者
- (2) 福島第一原子力発電所の20キロ圏内に居住しており避難に及んだ者または、その付近に居住しており、原発事故による放射線の影響のため地域環境が悪化し、避難を余儀なくされた者
- (3) 福島県内の居住地から、放射線の影響により避難をした者

3 定員等

(1) 平成29年度入学者選抜において、震災等の影響による定員の変更はないが、他県からの受検生の増加に対し、以下の配慮を行う。

- ① 震災の影響による受検生が受検する学校にあっては、あらかじめ1学級あたりの上限を45名以内に定め、合格者を認定できるものとする。
- ② 公立高等学校長は中学校長に対して、受検生が震災による避難者であるか確認を求めることができる。

中学校長は、自校の震災による避難者が本県県立高等学校に志願する場合には、その生徒についての証明を別紙により志願先高等学校長あて提出する。

(2) 志願の制限

① 住民登録

ア 本県県立高等学校を受検しようとする者は、入学までに、本県に住民登録を行うものとする。

イ 本県の中学校を卒業見込みの者については、本県内への住民登録を条件としない。この場合、在籍中学校の所在地を受検生の現住所とみなし、本県の学区制に従い受検できるものとする。

② 学区外志願の認定については以下のとおりとする。

ア 本県外からの志願を許可する基準は「一家転住等」である。

イ 震災の影響の場合であっても、保護者と同居をしない転住（本人のみの転居等）については許可しない。ただし、保護者の認定については弾力的に対応するものとする。

- ③ 区域外就学により県内の中学校を卒業見込みの者が本県外公立高等学校に入学志願する場合も、「山形県公立高等学校に志願しない旨の証明願」（別記様式第5号B）を本県教育委員会教育長に1部提出すること。
- (3) 推薦入学者選抜
 - ① 平成29年3月に本県中学校を卒業見込みの生徒については、推薦入学者選抜の受検資格があるものとし、本県への住民登録を条件としない。
 - ② 震災の影響により受検生が増加した場合は、学校で定める推薦による選抜の募集人員より合格内定者を多く認定することができる。
- (4) 一般入学者選抜
 - ① 震災の影響による受検者の合否の判断については、一般入学者選抜に係る選抜方法により判断する。
 - ② 合格者の認定に当たっては、入学定員を超えて本県受検生の合格者が出ないようにすること。

4 配慮事項

- (1) 入学定員の上限については、3の(1)①により県立高等学校長が判断できるものとするが、合格発表に先立って上限を公にすることはしない。
- (2) 震災による受検生の調査書については、その扱いについて配慮する。
- (3) 面接における質問の内容について配慮する。

5 その他

- (1) 各県立高等学校長は、震災の影響による他県からの受検生の出願及び合格（内定）状況を、高校教育課長に報告しなければならない。
- (2) 当実施要項は、平成29年度入選に対応したものであり、平成30年度以降の入学者選抜に当たっては、避難者の推移等を参考のうえ別途対応する。

第71回国民体育大会本大会結果

1. 大会期日 主会期 平成28年10月 1日(土)～10月11日(火) : 開会式 10月 1日(土)
会期前 平成28年 9月 4日(日)～ 9月11日(日)

2. 会 場 岩手県下

3. 県選手団 団長 吉村美栄子 以下 507名(33競技)

4. 総合成績

天皇杯(男女総合成績) 第26位 929点 (70回 36位 801.5 69回 30位 870.0点)
皇后杯(女子総合成績) 第23位 566点 (70回 39位 410.5 69回 32位 453.5点)

5. 種目別総合順位

カヌー競技 男女総合 第1位 女子総合1位
ホッケー競技 女子総合7位

6. 入賞競技団体 本大会 10競技(前回11競技)

陸上競技、水泳(競泳・水球)、ホッケー、ボクシング、レスリング、ウェイトリフティング、馬術、ソフトボール、ライフル射撃、カヌー

[アーチェリー:個人で入賞したが、天皇杯得点外のためカウントせず]

(※国体競技番号順)

7. 優勝数

第71回	(岩手県)	9
第70回	(和歌山県)	4
第69回	(長崎県)	7

8. 団体・個人別 入賞数及び得点 ※()の数は、昨年(第70回)の入賞数・得点等

区別	入賞数	得点	得点割合 %
団体	11 (9)	233 (200)	63.3 (69.1)
個人	37 (25)	135 (89.5)	36.7 (30.9)
合計	48 (34)	368 (289.5)	100

競技得点	
陸上競技	31.0
水泳(競泳)	16.0
水泳(水球)	5.0
ホッケー	40.0
ボクシング	10.5
レスリング	21.0
ウェイトリフティング	2.0
馬術	4.5
ソフトボール	20.0
ライフル射撃	8.0
カヌー	210.0
合計	368.0

9. 種別 入賞数及び得点

種別	入賞数	得点	得点割合 %
成年男子	11 (7)	56.5 (31.5)	15.4 (10.9)
成年女子	5 (4)	7.0 (46.0)	1.9 (15.9)
少年男子	20 (12)	143.5 (169.5)	39.0 (58.5)
少年女子	12 (11)	161.0 (42.5)	43.7 (14.7)
合計	48 (34)	368.0 (289.5)	100%

成年	16 (11)	63.5 (77.5)	17.3 (26.8)
少年	32 (23)	304.5 (212.0)	82.7 (73.2)

10. 性別 入賞数及び得点

性別	入賞数	得点	得点割合 %
男子	31 (19)	200 (201.0)	54.3 (69.4)
女子	17 (15)	168 (88.5)	45.7 (30.6)
合計	48 (34)	368 (289.5)	100%

11. 入賞一覧

第71回国民体育大会本大会入賞一覧

NO	順位	競技名	種別	種目	選手名	所属	競技得点	
1	1位	水泳(競泳)	成年男子	100m平泳ぎ	小関 也朱篤	ミキハウス	8.0	
2		カヌー	少年男子	JC-1(500m)	志田 駿太郎	寒河江高校3年	8.0	
3		カヌー	少年男子	JK-1(500m)	縄 空	谷地高校3年	8.0	
4		カヌー	少年男子	JK-2(500m)	菊池 憲斗・木村 大翔	谷地高校	24.0	
5		カヌー	少年女子	JWK-2(200m)	増川 かな・増川 知保	寒河江高校	24.0	
6		カヌー	少年女子	JWK-4(200m)	吉見・大川・吉田・佐藤	谷地高校	24.0	
7		カヌー	少年男子	JC-1(200m)	志田 駿太郎	寒河江高校3年	8.0	
8		カヌー	少年男子	JK-1(200m)	縄 空	谷地高校3年	8.0	
9		カヌー	少年男子	JK-2(200m)	菊池 憲斗・木村 大翔	谷地高校	24.0	
10	2位	カヌー	少年女子	JWK-2(500m)	増川 かな・増川 知保	寒河江高校	21.0	
11		カヌー	少年女子	JWK-4(500m)	吉見・大川・吉田・佐藤	谷地高校	21.0	
12		陸上	少年女子	円盤投	齋藤 真希	鶴岡工業高校1年	7.0	
13	3位	レスリング	少年男子	フリースタイル84kg級	今野 港斗	山形商業高校2年	5.5	
14		陸上	少年女子B	100m	青野 朱季	山形中央高校1年	6.0	
15		ボクシング	成年男子	ライトウェルター級	岡澤 セオン	中央大学3年	5.5	
16		カヌー	少年女子	JWK-1(200m)	中村 天音	谷地高校2年	6.0	
17		カヌー	少年男子	JC-2(200m)	荒木 航洋・荒木 岳樹	谷地高校	18.0	
18		レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル85kg級	鶴巻 宰	自衛隊体育学校	5.5	
19	4位	ライフル射撃	少年女子	10mS40JW	高橋 佳伶	南陽高校3年	5.0	
20		馬術	成年男子	六段障害飛越競技	秋葉 友勝	湯の町乗馬クラブ	4.5	
21		ホッケー	少年女子		山形選抜		40.0	
22	5位	ソフトボール	成年男子		山形選抜	山形市役所	20.0	
23		カヌー	少年男子	JC-2(500m)	荒木 航洋・荒木 岳樹	谷地高校	12.0	
24		カヌー	少年女子	JWK-1(500m)	中村 天音	谷地高校2年	4.0	
25		レスリング	成年男子	フリースタイル61kg級	須藤 学	山形市役所	2.5	
26		レスリング	成年男子	フリースタイル74kg級	高島 優太	日本体育大学4年	2.5	
27		ボクシング	少年男子	ピン級	箭柏 鳳成	日大山形高校1年	2.5	
28		ボクシング	少年男子	ライトウェルター級	星川 翔太	山形南高校3年	2.5	
29		レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル50kg級	庄司 奈央	山形商業高校2年	2.5	
30		レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル60kg級	池田 龍斗	山形商業高校2年	2.5	
31		陸上	成年男子	110mH	古川 裕太郎	山形TFC	4.0	
32		陸上	少年男子共通	5000mW	五十嵐 海成	山形南高校2年	4.0	
33	6位	陸上	少年男子B	3000m	荒生 実慧	酒田南高校1年	3.0	
34	7位	水泳(競泳)	成年女子	100m背泳ぎ	西脇 怜奈	筑波大学2年	2.0	
35		水泳(競泳)	成年女子	100m自由形	長谷川 鼓	日本体育大学2年	2.0	
36		水泳(競泳)	少年男子B	50m自由形	今野 太介	羽黒高校1年	2.0	
37		ウェイトリフティング	少年男子	56kg級・スナッチ	大場 秀太	酒田光陵高校3年	2.0	
38		ライフル射撃	成年男子	10MAP60M	大平 正義	山形県警察	2.0	
39		陸上	少年女子B	800m	長沼 明音	九里学園1年	2.0	
40	8位	水泳(水球)	少年男子		山形選抜	山形工業高校	5.0	
41		水泳(競泳)	成年女子	400m自由形	長谷川 鼓	日本体育大学2年	1.0	
42		水泳(競泳)	少年男子B	100m自由形	今野 太介	羽黒高校1年	1.0	
43		ライフル射撃	少年女子	BRS20JW	井上 瞳	南陽高校3年	1.0	
44		陸上	少年男子共通	円盤投	松田 知利	庄内総合高校3年	1.0	
45		陸上	成年女子	100m	佐藤 日奈子	大東文化大2年	1.0	
46		陸上	成年男子	400m	山木 伝説	日本大学3年	1.0	
47		陸上	成年女子	800m	小野 莉奈	福島大学4年	1.0	
48		陸上	成年少年男子共通	4×100mR	山形選抜		1.0	
							本大会合計	368.0
							冬季大会競技得点	161.0
							参加得点	400.0
							第71回国体得点合計	929.0

* 天皇杯得点外

7位	アーチェリー	成年女子	個人	中村 美樹	ハードオフコーポレーション
----	--------	------	----	-------	---------------

議第 1 号

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則

山形県立高等学校管理運営規則（昭和 41 年 4 月県教育委員会規則第 3 号）の一部を次のように改正する。

別表第 1 中

「

同	山形西高等学校	普通		240	を
---	---------	----	--	-----	---

」

「

同	山形西高等学校	普通		200	に、
---	---------	----	--	-----	----

」

「

同	山形工業高等学校	工業	機械システム	80				を
			電子システム	40				
			情報システム	40				
			建築システム	40				
			環境システム	40				

」

「

同	山形工業高等学校	工業	機械システム	募集停止				に、
			電子システム	募集停止				
			情報システム	募集停止				
			建築システム	募集停止				
			環境システム	募集停止				
			機械	40				
			電子機械	40				
			電気電子	40				
			情報技術	40				
			建築	40				
			土木・化学	40				

」

「

120
40
40

を

「

80
40
40

に、

」

」

同	鶴岡工業高等学校	工 業	機械システム	募集停止	工 業	工業技術	夜40
			生産システム	募集停止			
			電気電子システム	募集停止			
			情報通信システム	募集停止			
			建築システム	募集停止			
			環境システム	募集停止			
			機械	40			
			電気電子	40			
			情報通信	40			
			建築	40			
環境化学	40						

を

同	鶴岡工業高等学校	工 業	機械	40	工 業	工業技術	夜40
			電気電子	40			
			情報通信	40			
			建築	40			
			環境化学	40			

に、

同	庄内農業高等学校	農 業	生物生産	40			
			園芸科学	40			
			生物環境	40			

を

同	庄内農業高等学校	農 業	生物生産	募集停止			
			園芸科学	募集停止			
			生物環境	募集停止			
			食料生産	40			
			食品科学	40			

に、

「

同 酒田光陵高等学校	普通 工業	機械	80			
		電子機械	40			
		エネルギー技術	40			
		環境技術	40			
		商業	募集停止			
	国際経営	40				
	ビジネス流通	40				
情報	40					
ビジネス会計	40					
同 遊佐高等学校	普通 総合		募集停止 40			

を

「

同 酒田光陵高等学校	普通 工業	機械	80			
		電子機械	40			
		エネルギー技術	40			
		環境技術	40			
		商業	募集停止			
	国際経営	40				
	ビジネス流通	40				
情報	40					
ビジネス会計	40					
同 遊佐高等学校	総合		40			

に

改める。

附 則

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

提 案 理 由

平成 29 年度高等学校再編整備計画に伴う入学定員の変更及び学科名変更を行うため提案するものである。

平成 28 年 10 月 20 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 渉

山形県立高等学校管理運営規則新旧対照表

現 行							改 正 案								
別表第1 高等学校の名称・課程及び入学定員							別表第1 高等学校の名称・課程及び入学定員								
学校名	全日制の課程			定時制の課程			学校名	全日制の課程			定時制の課程				
	設置学科	入学定員		設置学科	入学定員			設置学科	入学定員		設置学科	入学定員			
(略)							(略)								
同	山形西高等学校	普通			240		同	山形西高等学校	普通			200			
(略)							(略)								
同	山形工業高等学校	工業	機械システム		80		同	山形工業高等学校	工業	機械システム	募集停止				
			電子システム		40					電子システム	募集停止				
			情報システム		40					情報システム	募集停止				
			建築システム		40					建築システム	募集停止				
			環境システム		40					環境システム	募集停止				
										機械	40				
										電子機械	40				
										電気電子	40				
										情報技術	40				
										建築	40				
										土木・化学	40				
(略)							(略)								
同	新庄南高等学校	普通			120		同	新庄南高等学校	普通			80			
		商業	総合ビジネス		40				商業	総合ビジネス	40				
	金山校	普通			40			金山校	普通			40			
(略)							(略)								

現 行							改 正 案										
同	鶴岡工業高等学校	工 業	機械システム 生産システム 電気電子システム 情報通信システム 建築システム 環境システム 機械 電気電子 情報通信 建築 環境化学	募集停止 募集停止 募集停止 募集停止 募集停止 募集停止 40 40 40 40 40	工 業	工業技術	夜	40	同	鶴岡工業高等学校	工 業	機械 電気電子 情報通信 建築 環境化学	40 40 40 40 40	工 業	工業技術	夜	40
(略)							(略)										
同	庄内農業高等学校	農 業	生物生産 園芸科学 生物環境	40 40 40					同	庄内農業高等学校	農 業	生物生産 園芸科学 生物環境 食料生産 食品科学	募集停止 募集停止 募集停止 40 40				
(略)							(略)										
同	酒田光陵高等学校	普 通 工 業 商 業 情 報	機械 電子機械 エネルギー技術 環境技術 国際経営 ビジネス流通 ビジネス会計	80 40 40 40 募集停止 40 40 40					同	酒田光陵高等学校	普 通 工 業 商 業 情 報	機械 電子機械 エネルギー技術 環境技術 ビジネス流通 ビジネス会計	80 40 40 40 40 40 40				
同	遊佐高等学校	普 通 総 合		募集停止 40					同	遊佐高等学校	総 合		40				
(略)							(略)										

議第 3 号

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づく意見
に係る臨時専決処理の承認について

山形県議会 9 月定例会に提案された下記予算の作成について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定により山形県知事から意見を求められた件について、教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則（昭和 31 年 11 月県教育委員会規則第 12 号）第 5 条第 1 項の規定により、別紙のとおり専決処理したことについて承認する。

記

平成 28 年度山形県一般会計補正予算（第 3 号）のうち、教育委員会に
関する事務に係る部分

提 案 理 由

山形県知事から上記予算の作成に当たり意見を求められ、緊急を要したため、教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則第 5 条第 1 項の規定により専決処理したので、同条第 2 項の規定により承認を求めるため提案するものである。

平成 28 年 10 月 20 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 涉

教 総 第 1172 号

平成28年 9月28日

山形県知事 吉 村 美栄子 殿

山形県教育委員会
教育長 廣 瀬



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく
意見の聴取について (回答)

平成28年 9月26日付け財第129号で意見を求められた下記の歳入歳出予算の
うち教育委員会に関する事務に係る部分について同意します。

記

平成28年度山形県一般会計補正予算 (第3号)

平成 28 年 10 月 20 日

教育庁総務課

平成 28 年度 9 月補正予算（追加）の概要

1 総括表

（単位：千円）

区 分	補正前の額	9 月補正 （冒頭）額	9 月補正 （追加）額	合 計
人件費	100,672,968	1,681		100,674,649
一般行政費	7,894,032	31,387	2,664	7,928,083
投資的経費	3,506,994	48,769		3,555,763
合 計	112,073,994	81,837	2,664	112,158,495

2 補正予算の概要

（単位：千円）

事 項 名	補 正 額	概 要
放課後子ども教室一体型の設置に係る設備整備に対する支援	2,664	市町村が放課後児童クラブと一体となった放課後子ども教室を設置するための設備や備品の整備に対する支援 【政府の補正予算への対応】

平成28年度山形県一般会計補正予算（第3号）

平成28年度山形県の一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ19,260,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ651,167,000千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 県 税		108,100,000		108,100,000
	1 県 民 税	36,262,000		36,262,000
	2 事 業 税	20,042,000		20,042,000
	3 地 方 消 費 税	21,334,000		21,334,000
	4 不 動 産 取 得 税	2,071,000		2,071,000
	5 県 た ば こ 税	1,197,000		1,197,000
	6 ゴルフ場利用税	128,000		128,000
	7 自 動 車 取 得 税	1,077,000		1,077,000
	8 軽 油 引 取 税	9,955,000		9,955,000
	9 自 動 車 税	15,862,000		15,862,000
	10 鉱 区 税	4,000		4,000
	11 狩 猟 税	6,000		6,000
	12 産 業 廃 棄 物 税	162,000		162,000
2 地方消費税清算金		40,500,000		40,500,000
	1 地方消費税清算金	40,500,000		40,500,000
3 地方譲与税		19,623,000		19,623,000
	1 地方法人特別譲与税	16,600,000		16,600,000
	2 地方揮発油譲与税	2,800,000		2,800,000
	3 石油ガス譲与税	190,000		190,000

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
	5 航空機燃料譲与税	33,000		33,000
4 地方特例交付金		310,000		310,000
	1 地方特例交付金	310,000		310,000
5 地方交付税		179,200,000		179,200,000
	1 地方交付税	179,200,000		179,200,000
6 交通安全対策特別交付金		450,000		450,000
	1 交通安全対策特別交付金	450,000		450,000
7 分担金及び負担金		5,177,818	1,073,317	6,251,135
	1 分担金	1,586,548	931,569	2,518,117
	2 負担金	3,591,270	141,748	3,733,018
8 使用料及び手数料		7,332,134		7,332,134
	1 使用料	5,137,524		5,137,524
	2 手数料	26,913		26,913
	3 県証紙収入	2,167,697		2,167,697
9 国庫支出金		70,966,340	9,370,924	80,337,264
	1 国庫負担金	28,883,448	31,065	28,914,513
	2 国庫補助金	40,718,979	9,339,859	50,058,838
	3 委託金	1,363,913		1,363,913
10 財産収入		841,109		841,109
	1 財産運用収入	441,433		441,433

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
	2 財産売却収入	399,676		399,676
11 寄附金		236,262		236,262
	1 寄附金	236,262		236,262
12 繰入金		26,287,719		26,287,719
	1 特別会計繰入金	587,963		587,963
	2 基金繰入金	24,449,756		24,449,756
	3 公営企業繰入金	1,250,000		1,250,000
13 繰越金		1,715,135	544,068	2,259,203
	1 繰越金	1,715,135	544,068	2,259,203
14 諸収入		91,786,083	185,691	91,971,774
	1 延滞金、加算金及び過料等	99,250		99,250
	2 県預金利子	20,332		20,332
	3 公営企業貸付金元利収入	4,500,000		4,500,000
	4 貸付金元利収入	73,543,372		73,543,372
	5 受託事業収入	699,522		699,522
	6 収益事業収入	2,503,000		2,503,000
	7 利子割精算金収入	7,173		7,173
	8 雑収入	10,413,434	185,691	10,599,125
15 県債		79,381,400	8,086,000	87,467,400
	1 県債	79,381,400	8,086,000	87,467,400

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
歳	入	631,907,000	19,260,000	651,167,000

款	項	補正前の額	補正額	計
1 議会費		1,124,694		1,124,694
	1 議会費	1,124,694		1,124,694
2 総務費		45,175,287	2,210	45,177,497
	1 総務管理費	16,777,874		16,777,874
	2 企画費	14,792,217	2,210	14,794,427
	3 徴税費	4,837,313		4,837,313
	4 市町村振興費	903,230		903,230
	5 選挙費	1,231,215		1,231,215
	6 防災費	6,028,024		6,028,024
	7 統計調査費	342,999		342,999
	8 人事委員会費	125,423		125,423
	9 監査委員費	136,992		136,992
3 民生費		77,046,633	164,336	77,210,969
	1 社会福祉費	56,468,742	10,732	56,479,474
	2 児童福祉費	18,488,752	153,604	18,642,356
	3 生活保護費	2,081,679		2,081,679
	4 災害救助費	7,460		7,460
4 衛生費		23,958,027		23,958,027
	1 公衆衛生費	2,851,200		2,851,200
	2 環境衛生費	3,662,940		3,662,940

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
	3 保健所費	1,639,462		1,639,462
	4 医薬費	15,804,425		15,804,425
5 労働費		3,091,382		3,091,382
	1 労政費	1,049,756		1,049,756
	2 職業訓練費	1,506,638		1,506,638
	3 失業対策費	453,138		453,138
	4 労働委員会費	81,850		81,850
6 農林水産業費		47,746,573	8,240,648	55,987,221
	1 農業費	13,093,512	1,059,904	14,153,416
	2 畜産業費	2,521,999		2,521,999
	3 農地費	21,963,588	5,793,844	27,757,432
	4 林業費	8,082,890	956,400	9,039,290
	5 水産業費	2,084,584	430,500	2,515,084
7 商工費		77,284,656		77,284,656
	1 商業費	70,852,536		70,852,536
	2 工鉱業費	5,445,892		5,445,892
	3 観光費	986,228		986,228
8 土木費		59,580,240	10,750,142	70,330,382
	1 土木管理費	2,816,198		2,816,198
	2 道路橋りょう費	31,672,134	3,801,843	35,473,977

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
	3 河川海岸費	16,104,658	4,912,720	21,017,378
	4 港湾費	2,707,734	999,762	3,707,496
	5 都市計画費	4,490,324	1,035,817	5,526,141
	6 住宅費	1,789,192		1,789,192
9 警察費		26,749,198		26,749,198
	1 警察管理費	25,030,547		25,030,547
	2 警察活動費	1,718,651		1,718,651
10 教育費		121,491,938	2,664	121,494,602
	1 教育総務費	13,144,277		13,144,277
	2 小学校費	43,052,925		43,052,925
	3 中学校費	23,490,681		23,490,681
	4 高等学校費	28,803,589		28,803,589
	5 特別支援学校費	9,756,263		9,756,263
	6 大学費	1,206,994		1,206,994
	7 社会教育費	741,657	2,664	744,321
	8 保健体育費	1,295,552		1,295,552
11 災害復旧費		7,956,061	100,000	8,056,061
	1 農林水産施設災害復旧費	806,623		806,623
	2 公共土木施設災害復旧費	7,149,438	100,000	7,249,438
12 公債費		93,679,515		93,679,515

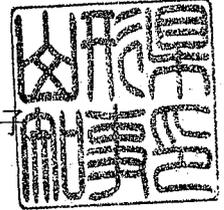
(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
	1 公債費	93,679,515		93,679,515
13 諸支出金		46,972,796		46,972,796
	2 公営企業貸付金	4,500,000		4,500,000
	3 地方消費税清算金	20,292,000		20,292,000
	4 利子割交付金	205,180		205,180
	5 配当割交付金	462,726		462,726
	6 株式等譲渡所得割交付金	325,512		325,512
	7 地方消費税交付金	20,378,000		20,378,000
	8 ゴルフ場利用税交付金	89,701		89,701
	10 自動車取得税交付金	716,439		716,439
	11 利子割精算金	3,238		3,238
14 予備費		50,000		50,000
	1 予備費	50,000		50,000
歳出合計		631,907,000	19,260,000	651,167,000

財 第 1 2 9 号
平成 2 8 年 9 月 2 6 日

山形県教育委員会教育長 殿

山形県知事 吉 村 美 栄 子



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づく
意見の聴取について

県議会 9 月定例会に提案する次の歳入歳出予算のうち教育委員会に関する事
務にかかる部分について、貴委員会の意見を求めます。

記

平成 28 年度山形県一般会計補正予算 (第 3 号)

議第 4 号

山形県飯豊少年自然の家の指定管理者の指定について

山形県飯豊少年自然の家の指定管理者の指定について、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定により、次のとおり指定する。

- 1 公の施設の名称 山形県飯豊少年自然の家
- 2 指定する団体 山形市鉄砲町二丁目 13 番 18 号
株式会社ヤマコー
- 3 指定の期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

提 案 理 由

山形県飯豊少年自然の家の指定管理者を指定するため提案するものである。

平成 28 年 10 月 20 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 渉

議第 5 号

平成 29 年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入
学者募集について

平成 29 年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学者を別紙
のとおり募集する。

提 案 理 由

平成 29 年度における山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学
者の募集を行う必要があるため提案するものである。

平成 28 年 10 月 20 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 渉

1 山形県立高等学校全日制の課程及び定時制の課程

学 校 名	全 日 制 の 課 程		定 時 制 の 課 程		特 記
	設 置 学 科	入 学 定 員	設 置 学 科	入 学 定 員	
山形県立山形東高等学校	普通	240			
同 山形南高等学校	普通	240			
	理数	40			
同 山形西高等学校	普通	200			
同 山形北高等学校	普通	160			
	音楽	40			
同 山形工業高等学校	工業	40			
	機 械	40			
	電 子 機 械	40			
	電 気 電 子	40			
	情 報 技 術	40			
	建 築	40			
	土 木 ・ 化 学	40			
同 山形中央高等学校	普通	160			
	体育	80			
同 霞城学園高等学校			普 通		午前 40 午後 40 夜 40
同 上山明新館高等学校	普通	200			
	農 業	40			
	食 料 生 産	40			
	商 業	40			
	情 報 経 営	40			
同 天童高等学校	総合	160			
同 山辺高等学校	家庭	40			
	食 物	40			
	福 祉	40			
	看 護 看 護	40			
同 寒河江高等学校	普通	200			
同 寒河江工業高等学校	工業	40			
	機 械	40			
	電 子 機 械	40			
	情 報 技 術	40			
同 谷地高等学校	普通	120			
同 左沢高等学校	総合	120			
同 村山産業高等学校	農 業	40			
	農 業 経 営	40			
	農 業 環 境	40			
	工 業	40			
	機 械	40			
	電 子 情 報	40			
	商 業	40			
	流 通 ビ ジ ネ ス	40			
同 東桜学館高等学校	普通	200			
同 北村山高等学校	総合	160			
同 新庄北高等学校	普通	200	普 通		夜 40
	最 上 校	40			
同 新庄南高等学校	普通	80			
	商 業	40			
	総 合 ビ ジ ネ ス	40			
	金 山 校	40			
同 新庄神室産業高等学校	農 業	40			
	生 物 生 産	40			
	生 物 環 境	40			
	工 業	40			
	機 械 電 気	40			
	環 境 デ ザ イ ン	40			
	真 室 川 校	40			
	普 通	40			

学 校 名	全 日 制 の 課 程			定 時 制 の 課 程			特 記
	設 置 学 科	入 学 定 員		設 置 学 科	入 学 定 員		
同 米沢興譲館高等学校	普通 理数	160 40					一般入学者選抜において、普通科と理数科は、まとめて募集する。
同 米沢東高等学校	普通	160					
同 米沢工業高等学校	工業	機械 生産デザイン 電気情報 建築 環境工学	40 40 40 40 40	工業	産業夜	40	全日制の課程において、機械科と生産デザイン科、建築科と環境工学科は、それぞれまとめて募集する。
同 米沢商業高等学校	商業	総合ビジネス 情報ビジネス	80 40				
同 置賜農業高等学校	農業	生物生産 園芸福祉 食料環境	40 40 40				
同 南陽高等学校	普通		200				
同 高畠高等学校	総合		120				
同 長井高等学校	普通		200				
同 長井工業高等学校	工業	機械システム 電子システム 福祉生産システム	40 40 40				
同 荒砥高等学校	総合		80				
同 小国高等学校	普通		80				
同 鶴岡南高等学校	普通 理数		160 40				一般入学者選抜において、普通科と理数科は、まとめて募集する。
同 山添校	普通		40				
同 鶴岡北高等学校	普通		160				
同 鶴岡工業高等学校	工業	機械 電気電子 情報通信 建築 環境化学	40 40 40 40 40	工業	工業技術夜	40	
同 鶴岡中央高等学校	普通 総合		120 160				
同 加茂水産高等学校	水産	海洋技術 海洋資源	40 40				
同 庄内農業高等学校	農業	食料生産 食品科学	40 40				
同 庄内総合高等学校	総合		120				
同 酒田東高等学校	普通		200				
同 酒田西高等学校	普通		200	普通		夜 40	
同 酒田光陵高等学校	普通 工業	機械 電子機械 エネルギー技術 環境技術 商業 ビジネス流通 ビジネス会計 情報	80 40 40 40 40 40 40 40				
同 遊佐高等学校	総合		40				

2 山形県立高等学校通信制の課程

学 校 名	設置学科	入学定員
山形県立霞城学園高等学校	普 通	120
	服 飾	40
同 鶴岡南高等学校	普 通	80

3 山形県立特別支援学校の高等部

学 校 名	受入れ区域	設置学科	入学定員
山形県立山形盲学校	県下一円	普 通	若干名
		保健理療	若干名
同 山形聾学校	県下一円	普 通	若干名
同 山形養護学校	県下一円	普 通	14
同 米沢養護学校	米沢市、南陽市、高島町、川西町	普 通	14
同 米沢養護学校 西置賜校	長井市、小国町、白鷹町、飯豊町	普 通	11
同 ゆきわり養護学校	県下一円	普 通	若干名
同 鶴岡養護学校	鶴岡市、庄内町、三川町	普 通	14
同 酒田特別支援学校	酒田市、遊佐町	普 通	14
同 新庄養護学校	新庄市、金山町、最上町、舟形町 真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村	普 通	22
同 村山特別支援学校	山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町	普 通	11
同 楯岡特別支援学校	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、 大石田町、	普 通	11
同 楯岡特別支援学校 大江校	寒河江市、河北町、西川町、朝日町 大江町	普 通	11
同 上山高等養護学校	山形市、米沢市、寒河江市、上山市 村山市、長井市、天童市、東根市 尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町 河北町、西川町、朝日町、大江町 大石田町、高島町、川西町、小国町 白鷹町、飯豊町	普 通	24
同 鶴岡高等養護学校	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町	普 通	16

(注) 受入れ区域について特別な事情がある場合には、校長が調整する。

4 山形県立高等学校専攻科

学 校 名	設置学科	入学定員
山形県立山辺高等学校	看 護	40

5 山形県立特別支援学校の高等部専攻科

学 校 名	受入れ区域	設置学科	入学定員
山形県立山形盲学校	県下一円	理 療	若干名
同 山形聾学校	県下一円	商業技術 生産技術	若干名 若干名

議第 6 号

平成 30 年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針の決定について

平成 30 年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針を別紙のとおり決定する。

提 案 理 由

平成 30 年度における山形県立高等学校入学者選抜に係る基本方針を定める必要があるため提案するものである。

平成 28 年 10 月 20 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 涉

平成 30 年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針（案）

平成 30 年度山形県立高等学校全日制の課程及び定時制の課程の入学者選抜は、次の方針に基づいて行う。

- 1 入学者の募集は、県教育委員会の公告に基づき、各高等学校長が行う。
なお、教育長が特に必要と認める場合は、第 2 次募集を行うことができる。
- 2 入学志願は次の各号に定めるところによる。
 - (1) 入学志願は 1 人 1 校とし、在籍又は出身の中学校、これに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長を経由して行うものとする。
 - (2) 入学志願に係る通学区域は、「山形県立中学校及び高等学校の通学区域に関する規則」（昭和 24 年 3 月県教育委員会規則第 4 号）の定めるところによる。
 - (3) 2 校以上に同時に志願した者は、選抜の対象から除外する。
- 3 入学者の選抜は、各高等学校長が、それぞれ次の各号に定めるところにより行う一般入学者選抜、推薦入学者選抜及び連携型入学者選抜のうちいずれかの選抜方法により、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。
また、選抜は、中学校における学習等の諸活動の記録及び県教育委員会が実施する学力検査の成績等の資料に基づいて行うものとする。
 - (1) 一般入学者選抜は、次に定めるところにより行う。
 - ア 中学校長から送付された調査書及び学力検査の成績に基づき選抜する。ただし、体育科及び音楽科の選抜においては、適性検査を行い、その結果を選抜の資料として加えるものとする。
 - イ 調査書中の各教科の評定と学力検査の成績の比率は、高等学校長が定める。
 - ウ 選抜に当たっては、面接を行うものとし、高等学校長は、その結果を選抜の資料に加えることができる。
 - (2) 推薦入学者選抜は、専門学科と総合学科において、必要に応じて、次に定めるところにより行う。
 - ア 推薦入学者選抜は自己推薦によるものとする。この場合、学力検査を行わずに、自己推薦書、調査書及び面接に基づき選抜する。ただし、体育科及び音楽科の選抜においては、適性検査を行い、その結果を選抜の資料として加えるものとする。
 - イ 必要に応じて作文、実技検査及び当該高等学校作成の基礎学力検査を課し、これらの結果等を選抜の資料に加えることができる。
 - (3) 連携型入学者選抜は、中高一貫教育を行う連携型中学校から連携型高等学校への入学者の選抜に当たり、次に定めるところにより行う。
 - ア 学力検査を行わず、「学習のまとめ」及び面接に基づき選抜する。
- 4 調査書を選抜の資料とする場合は、調査書中の「特別活動等の記録」及びその他の記録にも十分留意するものとする。
- 5 学力検査は、次の各号に定めるところにより行う。
 - (1) 学力検査は、平成 30 年 3 月 10 日（土）に同一問題で一斉に行う。
 - (2) 学力検査は、すべての学校・課程・学科において国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）について行う。
 - (3) 学力検査の問題は、中学校学習指導要領（平成 20 年文部科学省告示第 28 号）に基づいて出題する。
 - (4) 検査時間は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）それぞれ 50 分とする。

- (5) 配点は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）それぞれ 100 点とする。ただし、高等学校長が必要と認めるときは、特定教科の配点の比重を変更することができる。
- 6 高等学校長が必要と認め、自己申告等に関する書類が提出された場合は、これを選抜の資料として加えることができる。
- 7 合格者の発表は、平成 30 年 3 月 17 日（土）に受検番号によって行う。
- 8 国立諸学校を受検して合格した志願者については、在籍又は出身の中学校長は、志願先の高等学校長に対し、国立諸学校への入学の諾否を報告しなければならない。
- 9 その他入学者選抜の実施上必要な事項は、別に定める入学者選抜実施要項に示す。

付 記

- 1 高等学校専攻科の入学者選抜については、別に定める。
- 2 定時制の課程における成人の入学者選抜及び通信制の課程における入学者選考については、別に定める入学者選抜実施要項に示す。